

6 か月点検

定期点検は、車を使用する人が定期的に行う点検で、6 か月点検と12 か月点検の2種類があります。

● 6 か月点検項目には、㉔と㉕の項目があります。別冊「整備手帳」の点検整備方式の一覧表を参照してください。ここでは㉔の項目とメーカー推奨項目の一部を選んで点検要領を説明してあります。

㉔……点検を行うに当たって、車の構造、装置に関する基礎的な技術知識を有する人であれば、自らでも実施可能なもの。

㉕……点検を行うに当たって、専門的な技術知識を必要とするもの、専門的な機械、工具や測定器具を必要とするもの、装置または部品の分解、取外しを伴うもの。

● 点検結果は、所定の記録用紙に記録してください。ご自身でできない項目については、ホンダ販売店で点検を受け記録してください。

● 点検結果の記録用紙は、別冊整備手帳に綴込まれています。なお、記録は1 か年保存するようになっています。

● メーカー推奨項目の点検結果は、点検整備記録簿の「その他」の欄に記録してください。

注意事項

点検するときは、安全に十分注意してください。

● 場所は、平坦地で足場のしっかりした所を選び、スタンドを立てて行ってください。

● エンジン停止直後の点検は、エンジン本体、マフラーやエキゾーストパイプなどが熱くなっています。火傷にご注意ください。

● 排気ガスには、一酸化炭素などの有害な成分が含まれています。しめぎったガレージの中や、風通しの悪い場所でエンジンをかけての点検はやめてください。

● 走行して点検する必要があるときは、安全な場所で周囲の交通事情に十分注意して行ってください。

かじ取りホーク(フロントホーク)の点検

《損傷》

かじ取りホークに損傷がないか目視により点検します。

また、ハンドルを上下に動かし、かじ取りホークの曲りによる異音がないかを点検します。

《ホークスピンドル(ステアリングステム)の取付け状態》

ホークスピンドルの締付けナットにゆるみがないかをスパナなどの工具により点検します。工具で点検できない場合は、ハンドルまたはかじ取りホークを上下、前後方向に動かし、当たらないかを点検します。

